



JALUX

第42期 事業報告書

2002年4月1日～2003年3月31日

株式会社 JALUX

PROFILE

JALUXは、
JALグループの
流通・サービスの中核企業として、
航空分野を基盤に
事業の拡大をはかってまいりました。

“幸せづくりのパートナー”
を企業理念に、
これからもお客様の満足を実現できる
「生活提案企業」として、
たゆまぬ成長を目指してまいります。

トップメッセージ(営業の概況)

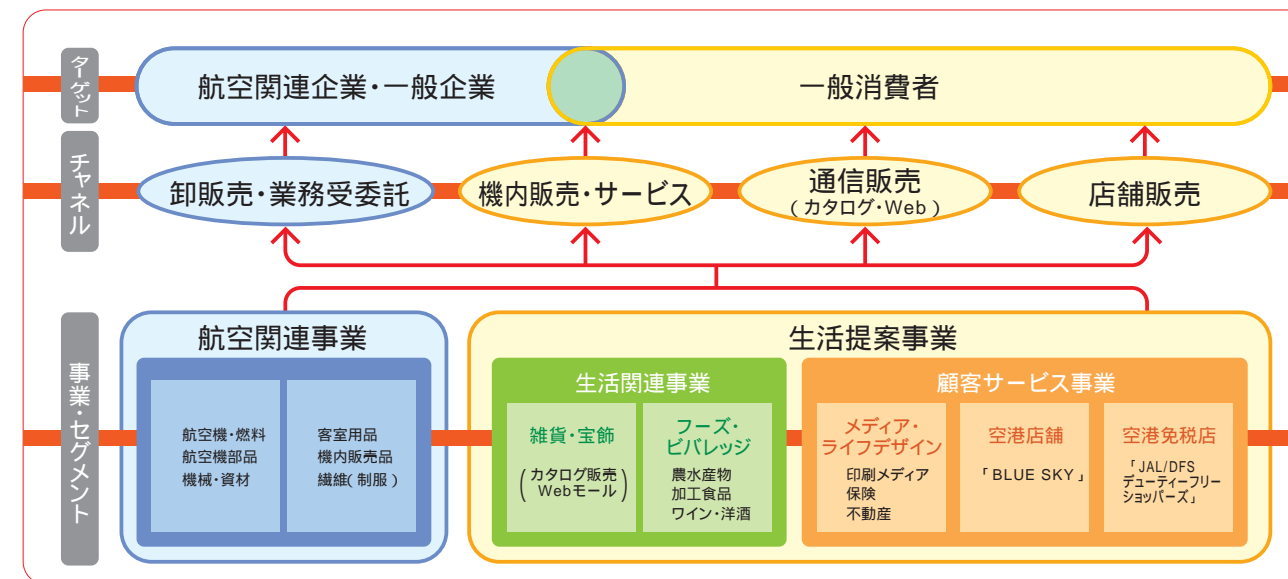
流通・品質の総点検により、
信頼性と収益力の向上を促進。



代表取締役社長(兼)会長
横山 善太

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
JALUXは2002年2月に東証2部への上場を果たし、同4月より上場企業としての実質的な初年度が始まりました。
この1年間においては、企業の社会的使命と責任に対する自覚を強め、各事業における仕入・販売の流通や品質管理についての総点検を、グループ一丸となって推進してまいりました。
そして、有効と判断される施策は迅速に実施し、経営効率の向上と事業基盤の強化に努め、目標の達成をはかってまいりました。

今後につきましては、厳しい環境も予測されますが、**JALUX**グループの中長期的な成長を見据え、良き企業市民として社会から信頼される「幸せづくりのパートナー」を目指し、皆様のご負託にお応えすべく企業価値の向上に尽力してまいります。



CONTENTS

トップメッセージ(営業の概況)	2-4
財務ハイライト	5
JALUX の中期ビジョン	6-7
連結財務諸表	8-9
株式情報 / 株主メモ / 株価・出来高の推移	10
株主優待	11
会社概要 / ホームページのご案内	12

当期の連結業績の概況

2003年3月期は、前期に対し航空関連需要の回復がみられたものの、消費動向などは総じて低調に推移してまいりました。
そのような環境下、JAL(日本航空株式会社)との取引形態の変更(9ページをご参照ください)により、売上高は869億円(前期比96%)となりましたが、「生活提案事業」の強化などにより、売上総利益においては195億円(同106%)と増益を果たしました。
そして、販売費・一般管理費の抑制により、経常利益は19.8億円(同124%)、当期純利益は10.3億円(同150%)と、前期を上回る業績をあげることができました。
次に、航空関連事業および生活提案事業の営業成果を、売上総利益の増減でご説明いたします。

航空関連事業の売上総利益は4億円の増益(前期比115%)

航空マーケットの需要回復により、中古航空機、航空機部品、機内販売用免税品の販売や、航空客室用品調達業務などが順調に推移し、売上総利益は32億円となりました。

生活提案事業の売上総利益は7億円の増益(前期比104%)

カタログ・Webによる通信販売や、オリジナル食品、贈答用食品、ワインなどの販売において増益となりました。
また、マーケティング力の強化やサービスの向上などにより、空港店舗「BLUE SKY」「JAL/DFSデューティーフリーショップス」で大幅な増益をおさめるとともに、印刷メディア、ライフデザインビジネス(保険・不動産)も順調に推移し、売上総利益は162億円となりました。

商品トピックス

デスクイシリーズ

JALUX オリジナル食品「デスクイシリーズ」において、「カレーデスクイ チキン」と「マロンデスクイ(冷凍焼き栗)」を新発売いたしました。



POL ROGER社シャンパン

フランスで150年以上の伝統を誇り、高い評価を受けるシャンパンの逸品「POL ROGER(ポール・ロジェ)」の輸入・販売を開始いたしました。



唐芋レアケーキ「ホワイトラプリー」

空港店舗「BLUE SKY」の人気商品「唐芋レアケーキ」に、新作「ホワイトラプリー」が加わり、千歳空港店にて発売を開始いたしました。



無添加石鹸「MASACO」

JALUXwebにてご紹介の、100% ナチュラルココナッツ石鹸「MASACO」に、多くのご好評をいただき、大手雑貨専門店などにおける販売を開始いたしました。



喫煙エリアシステム

空港や各種施設へ販売を行っている、喫煙エリア気流制御システム「トルネックス」について、当期は10施設への販売・納入を実施いたしました。



来期の連結業績の見通し

2004年3月期においては、消費を取り巻く環境が引き続き厳しい状況で推移するものと予想されます。特に上期における航空旅客需要の低下が見込まれ、航空関連事業の減収などによる売上高の減少が予想されます。

しかし、引き続き事業効率を重視し、収益性の低い事業の効率化または縮小をすすめる一方、生活提案事業におけるダイレクトチャネルの拡充をはかり、利益率の向上を目指してまいります。

そして、売上総利益については2003年3月期を上回る201億円(前期比103%)、経常利益は20億円(同101%)、当期純利益10.4億円(同100%)と、概ね実績を維持できるものと見込んでおります。

JALUXグループは、“Challenge & Change Yes, we can”の精神で、外部環境の変化に対応し、常に最適な事業ポートフォリオを追求できる組織体制を構築してまいりました。

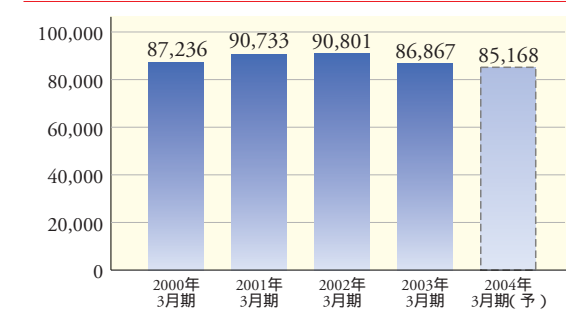
加えて、多種の商品・サービスと、卸販売、業務受託、通信販売、店舗販売などの多様なチャネル・方法を効率的に組み合わせることにより、確実な成長を遂げてまいりました。

来期においても、中長期的な成長の継続を見据え、目標の達成に向けて邁進してまいります。

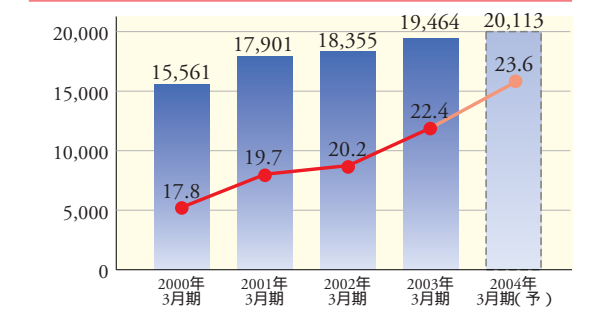
引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

財務ハイライト(連結)

売上高



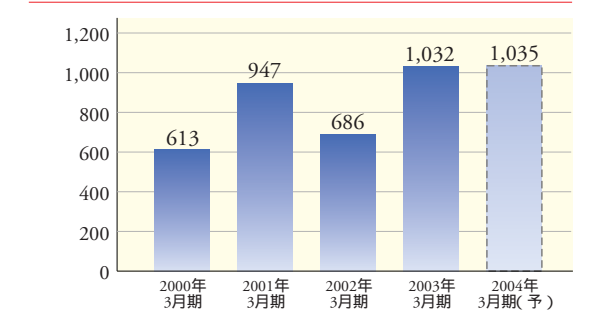
売上総利益



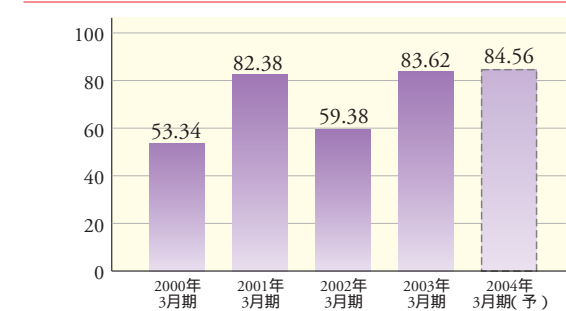
経常利益



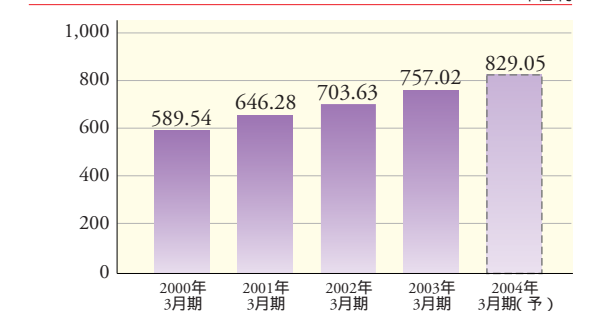
当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



継続的な利益成長を実現するために、
明確な中期ビジョンのもと、企業基盤の強化をはかってまいります。

中期ビジョンの基本コンセプト



JALUX は、お客様に常に良質な商品とサービスを提供していくことを、長期安定的な利益成長力の源泉とし、企業基盤の強化と企業価値の向上を目指してまいります。

中期的なビジョンとしては、B2Cビジネスを中心とする「生活提案事業の拡充」と、B2Bビジネスを中心とする「航空関連事業の維持・強化」に注力し、利益の拡大をはかっていくことにより、経常利益の平均成長率毎期10%以上を目標としてまいります。

中期的なターゲットの拡大を見据え マーケティング力を強化

中期成長目標達成のための牽引役として重要な位置付けを担うのは、一般消費者をコアターゲットとする生活提案事業です。

生活提案事業では、新たなJALグループの再編による、グループ資源やターゲットの拡大を見据え、B2Cビジネスにおけるマーケティング力の強化をはかってまいります。

具体的には、顧客ポータルの一元化や戦略的データベースシステムの再構築などにより、CRM機能を強化いたします。

そして、ブランド力や商品付加価値の一層の向上による商品力の強

化、また、カタログ、Web、店舗などのダイレクトチャネルにおけるシナジーの向上やJALグループ各社との連携強化などにより、顧客基盤の拡充をはかってまいります。

特に、重要なチャネルであるカタログ通販については...

「JAS FLIGHT SHOP」と「JAL SHOP」の統合

AGS通商から継承した総合食品カタログ「グルメ・ファーストクラス」と「食卓彩華」の統合

を機に、コンテンツの増強をはかり、カタログの充実度を一層高めてまいります。

また、主要カタログである「JAL World Shopping Club」においては、ターゲットを見据えた商品構成とオリジナル開発商品の充実などにより、顧客数の拡大を目指してまいります。



一方、新たな事業展開として、保険事業などのライフデザインビジネスを基礎に、介護・福利厚生関連ビジネスへの取り組みを推進するなど、生活提案企業としてのさらなる発展を目指してまいります。

航空関連事業のノウハウを活かし 中長期的な基幹事業を育成

B2Bビジネスを中心とする航空関連事業では、航空機・燃料・客室用品などの調達業務において、eコマースシステムへの対応や、コンサルティング力、商品開発力を強化し、安定基盤の維持・強化をはかってまいります。

そして、これらの調達・業務受託ビジネスにおける機能を高め、グループ外取引の拡大を目指してまいります。

さらに、新たな事業展開への取り組みとして、航空分野で培った専門的なナレッジと実績に基づく競争力を、より広い分野へと活用してまいります。例えば...

海外における空港運営ノウハウや設備供給の実績を、今後の発展が期待される中国・東南アジアにおける、交通インフラや施設運営ビジネスへと活かします。

機械・資材の取扱実績の中では、環境対応商材の拡充を新たな重点戦略とし、環境ビジネスとしての成長をはかります。

これら、今後を見据えた新たな取り組みなどにより、中長期的な基幹事業の育成をはかるとともに、将来のさらなる発展を一層確実なものとするべく、これからも JALUX は積極果敢に挑戦を続けてまいります。

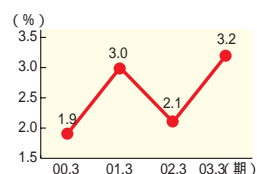
連結財務諸表(要旨) 単位:百万円、単位未満は切り捨て

■ 連結貸借対照表

科目	期別	
	前期(第41期) 2002年3月31日現在	当期(第42期) 2003年3月31日現在
資産の部		
流動資産	21,603	21,784
現金及び預金	4,133	3,546
受取手形及び売掛金	10,109	11,007
たな卸資産	5,575	5,181
繰延税金資産	263	288
その他流動資産	1,545	1,786
貸倒引当金	23	26
固定資産	10,368	10,872
有形固定資産	3,871	4,568
無形固定資産	433	482
投資その他の資産	6,063	5,822
投資有価証券	2,048	2,076
その他の投資	4,205	3,899
貸倒引当金	190	153
繰延資産	0	0
社債発行差金	0	0
資産合計	31,972	32,657

ROA

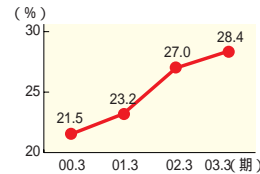
(当期純利益 ÷ 期中平均総資産)
当期において、総資本利益率を改善し、資産効率の向上をはかることができました。



科目	期別	
	前期(第41期) 2002年3月31日現在	当期(第42期) 2003年3月31日現在
負債の部		
流動負債	17,772	17,771
支払手形及び買掛金	10,944	10,004
短期借入金	2,623	2,896
未払費用	1,850	1,702
その他	2,353	3,168
固定負債	5,116	5,046
社債	350	
長期借入金	4,164	4,448
役員退職慰労引当金	156	136
その他	445	461
負債合計	22,888	22,818
少数株主持分		
少数株主持分	465	557
資本の部		
資本金	2,558	2,558
資本剰余金	661	661
利益剰余金	5,309	6,148
その他の有価証券評価差額	3	11
為替換算調整勘定	86	70
自己株式	0	4
資本合計	8,618	9,281
負債、少数株主持分及び資本合計	31,972	32,657

株主資本比率

(株主資本 ÷ 総資産)
株主資本比率は継続的に高まっており、財務の健全性は向上しております。



■ 連結損益計算書

科目	期別	
	前期(第41期) 自2001年4月1日 至2002年3月31日	当期(第42期) 自2002年4月1日 至2003年3月31日
売上高	90,801	86,867
売上原価	72,445	67,402
売上総利益	18,355	19,464
販売費及び一般管理費	16,960	17,627
営業利益	1,394	1,836
営業外収益	333	294
営業外費用	129	155
経常利益	1,599	1,975
特別利益	27	198
特別損失	94	121
税金等調整前当期純利益	1,532	2,052
法人税、住民税及び事業税	878	1,048
法人税等調整額	124	159
少数株主利益	90	130
当期純利益	686	1,032

JALとの取引形態の変更

当期より、JALとの取引(一部を除く)を、「物品の売買」から「業務受委託」方式に変更いたしました。(前期は販売額を売上高として計上しておりましたが、当期は業務受託料を売上高として計上しております。)

これにより、売上高は減少いたしました。物品の仕入計上を行いませんので、売上原価は発生せず、売上総利益への直接的な影響はございません。したがって、当期と前期の比較においては、売上総利益の変化が実質的な事業の成長を表すこととなります。また、この影響などにより、当期の営業活動によるキャッシュ・フローは一時的に減少いたしました。来期には解消されることとなります。

■ 連結剰余金計算書

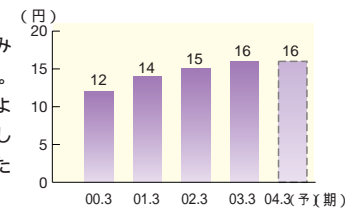
科目	期別	
	前期(第41期) 自2001年4月1日 至2002年3月31日	当期(第42期) 自2002年4月1日 至2003年3月31日
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高		661
資本準備金期首残高		661
資本剰余金期末残高		661
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	4,792	5,309
連結剰余金期首残高	4,792	5,309
利益剰余金増加高	686	1,032
当期純利益	686	1,032
利益剰余金減少高	169	193
配当金	161	183
役員賞与	8	10
利益剰余金期末残高	5,309	6,148

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	
	前期(第41期) 自2001年4月1日 至2002年3月31日	当期(第42期) 自2002年4月1日 至2003年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,345	262
投資活動によるキャッシュ・フロー	209	1,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,196	442
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	1
現金及び現金同等物の増減額	995	444
現金及び現金同等物の期首残高	2,972	3,967
現金及び現金同等物の期末残高	3,967	3,523

1株当たり株主配当金

前期は記念配当3円を含み増配を実施いたしました。当期は利益目標の達成により、普通配当を4円増配し16円の配当とさせていただきます。



株式情報(2003年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	20,000,000株
発行済株式の総数	12,250,000株
株主数	1,364名

■ 主要株主(上位10名)

株主名	持株数	議決権比率
日本航空株式会社	7,190千株	58.7%
JALUX 社員持株会	625千株	5.1%
ニッセイ同和損害保険株式会社	392千株	3.2%
東京海上火災保険株式会社	392千株	3.2%
三井住友海上火災保険株式会社	252千株	2.1%
あいおい損害保険株式会社	189千株	1.5%
株式会社損害保険ジャパン	189千株	1.5%
空港施設株式会社	168千株	1.4%
富士火災海上保険株式会社	63千株	0.5%
日動火災海上保険株式会社	63千株	0.5%

株主メモ(2003年6月24日現在)

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日(定時株主総会・利益配当金)
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂7丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 03-5683-5111(代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 本店ならびに 全国各支店、営業所
公告掲載新聞	日本経済新聞
(貸借対照表および損益計算書に係る情報は、 当社ホームページ http://www.jalux.com においてご提供いたします。)	
2003年5月1日をもって、1単元の株式数を変更いたしました。	

株主優待

2003年5月1日の1単元の株式数変更(500株から100株に変更)に伴い、株主優待制度の充実をはかりました。

■ 旧株主優待 ■ (2003年3月末の株主の方)

2003年3月31日現在、500株以上所有の株主名簿記載の株主の皆様へ、次の通り「JAL World Shopping Club(通販カタログ)」商品割引券を進呈いたします。

- 500株以上 2,000株未満所有の株主 …………… 1枚
- 2,000株以上 4,000株未満所有の株主 …………… 2枚
- 4,000株以上 6,000株未満所有の株主 …………… 3枚
- 6,000株以上 10,000株未満所有の株主 …………… 4枚
- 10,000株以上所有の株主 …………… 5枚

優待内容
JALUX 通信販売カタログ「JAL World Shopping Club」において、1回のお買い物について50%の割引をいたします。なお、商品割引券1枚につき最大割引額は5,000円となります。(送料・税別、1年間有効)

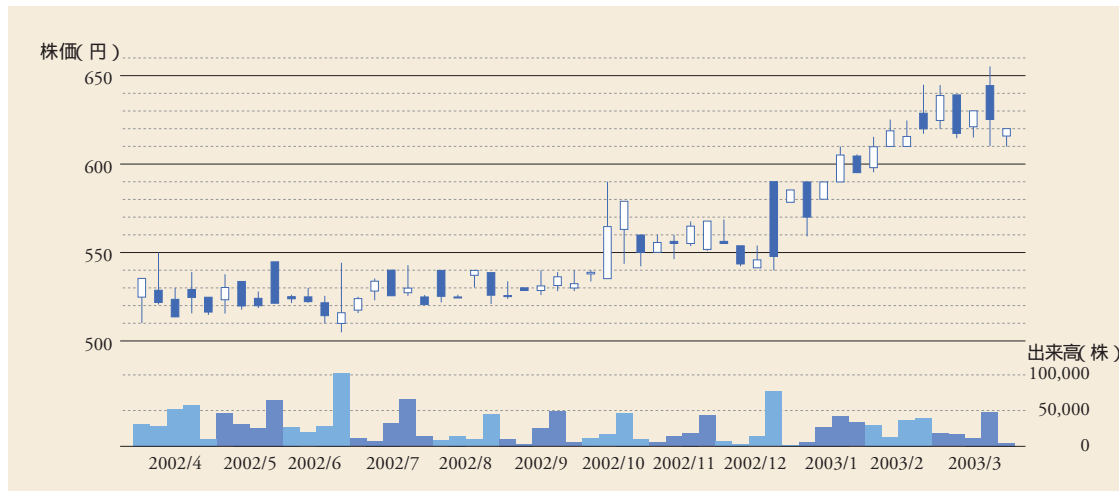
■ 新株主優待 ■ (2003年9月末および2004年3月末の株主の方)

毎年3月31日および9月30日現在、100株以上所有の株主名簿記載の株主の皆様へ、次の通りJALUX 商品券を進呈いたします。

- 100株以上 500株未満所有の株主 …………… 2枚(年間 4枚)
- 500株以上 2,000株未満所有の株主 …………… 4枚(年間 8枚)
- 2,000株以上 4,000株未満所有の株主 …………… 7枚(年間 14枚)
- 4,000株以上 6,000株未満所有の株主 …………… 10枚(年間 20枚)
- 6,000株以上 10,000株未満所有の株主 …………… 12枚(年間 24枚)
- 10,000株以上所有の株主 …………… 14枚(年間 28枚)

優待内容
JALUX 通信販売カタログ「JAL World Shopping Club」および空港店舗「BLUE SKY」でのお買い物において、1枚につき1,000円分の商品券としてご利用いただけます。(1年間有効)
旧優待券(割引券)や他の割引との併用はできませんのでご了承ください。優待券のみでお支払いの場合、釣銭はご容赦ください。

株価・出来高の推移(2002年4月1日~2003年3月31日)



■ 株主優待変更のポイント

- Point 1 割引券から商品券になって使いやすくなりました。
- Point 2 通販に加え、空港店舗「BLUE SKY」でもご利用できるようになりました。
- Point 3 優待額も増え、また年2回の発行となりました。



会社概要 (2003年6月24日現在)

商号	株式会社JALUX(ジャルックス) (英文名 / JALUX Inc.)
設立	1962年(昭和37年)3月28日
資本金	25億5,855万円
社員数	1,287名(連結子会社690名を含む) X 2003年3月31日現在)
国内空港支店	千歳、成田、羽田、大阪、福岡など12空港(49店舗)
国内子会社	JAL/DFSデューティーフリーショップーズ(株) (免税品販売) (株)JALUXエアポート(空港店舗運営業務)
海外拠点	JALUX EUROPE LTD.(ロンドン) JALUX AMERICAS, INC.(ロサンゼルス) JALUX ASIA LTD.(バンコク) JALUX ASIA LTD., Hong Kong Branch(香港) JALUX HAWAII, INC.(ホノルル) JALUX Inc. Shanghai Representative Office(上海) (連結子会社)

役員

代表取締役社長(兼)会長	横山善太
常務取締役	加藤好和
常務取締役	堤義幸
常務取締役	青山和朗
常務取締役	名井博明
取締役	坂本敏男
取締役	塩野谷住雄
取締役	吉田亮二
取締役	飯島宏二
取締役	塚原雄二
取締役(非)	河野明男
取締役(非)	麻生紘二
取締役(非)	進藤丈介
監査役	安念幸宏
監査役(非)	新町敏行
監査役(非)	古川康中

JALUX web

<http://www.jalux.com/>

JALUXのホームページをご紹介します。ぜひご利用ください。



「JALUX Shopping」や、ワイン、フラワーなどのショッピングを、お楽しみいただけます。



最新ニュースやディスクローズ
情報をご覧ください。



株主優待情報、決算短信などの
閲覧・ダウンロードが可能です。

株式会社 JALUX

〒140-8638 東京都品川区東品川2-4-11 JALビルディング
TEL 03-5460-7200(株式会社チーム)・7233(IRチーム)

www.jalux.com

(東証2部:コード 2729)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

2003年6月発行